

研修しています！ 福岡っ子の成長のために！

教頭 大谷 行和

福岡っ子一人一人が楽しく学び、学力を身に付けていくことは、保護者や地域の皆様、そして当の子供たちも含めて誰もが望み、期待するところです。そのため、私たち教職員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めることが求められています。

私が教員として駆け出しの頃に、研修について教えられたことがあります。研修とは、「研究」と「修養」を合わせた言葉であり、教育の「研究」では、テーマを狭く限定し、仮説を立て、その検証を行うことを大切にします。目の前にいる子供たちをよりよく変容させていくこと、すなわち「他者改善」に向かって努めることです。これに対して「修養」は、自分自身の教育実践を謙虚に振り返って授業づくりや学級づくり等に工夫や改善を加えたり、多くの先達が残した素晴らしい教育理念に触れたりすることで「自己改善」に努めます。

今年度、私たち教職員は、福岡っ子一人一人が、「分かった」「できた」と実感できるようにさせたいという願いをもって研究に努めています。興味や関心を高める教材分析、ねらいを明確にした授業の構想、基礎的・基本的な学習内容を定着させるためのモジュール学習の工夫などから一人一人の学びを育てています。家庭学習の習慣化を図るための対策も大事な研究内容としています。学校で学習したことが身に付くようにするために、宿題や自主学習、読書等の家庭での学習時間を「10分×各学年」を目安にして、保護者の方へも協力をお願いしています。

さて、先日、本校を会場として、市小学校教育研究会主催による算数科、道徳科、体育科の授業研究会を実施しました。（市内で3部会も授業公開したのは本校だけです。）授業後の協議会では、算数科「円の面積の求め方を考えよう」を公開した6年生、道徳科「心と心のあく手」を公開した4年生、体育科「心をつないで スピードに乗ったバトンパス～かけっこ・リレー～」を公開した4年生、どの授業においても「子供たちに学ばせたいことがはっきりしていた」「クラスの雰囲気がよく、落ち着いて学習に取り組んでいた」「学習環境が整い、学習の足跡が分かる板書や掲示物が参考になった」など、参観した先生方から温かい励ましや助言をいただきました。

本校では、「賢く」「仲よく」「強く」を目指す福岡っ子のよりよい成長のために、そして、私たちの指導力を向上させるための“研修”を、日々、行っています。

（7月10日（火）には、全学年・学級が授業公開する学校訪問研修会を予定しています。）